

やすだ なつき
安田 菜津紀

～PROFILE～

1987年神奈川県生まれ。

認定NPO法人 Dialogue for People

(ダイアログフォーピープル/D4P)

フォトジャーナリスト。同団体の副代表。

東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で
難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大
震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記
録し続けている。

現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』に
コメンテーターとして出演中。



共に生きるとは何か

—難民の声、家族の歴史から考えた多様性—

2024年

8月17日(土曜日)

◆【受付 13:00～】 13:30～15:00頃

◆西脇市茜が丘複合施設 Miraie

重春地区小・中学生による人権作文朗読

手話通訳・要約筆記

- ・託児あり(先着5名)。当日受付で声をかけてください。
- ・講演の録音・録画・写真撮影は御遠慮ください。
- ・相乗りでの御来場に御協力ください。

オンライン配信あり。
下の二次元コードから
お申込みください。
オンデマンド配信は
8月31日までです。



シリアでの戦争、ガザへの軍事侵攻が続くなど、世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々もいます。ウクライナから日本に身を寄せる人々のことが大きく報じられていますが、他の国からも多くの人々が避難を余儀なくされており、難民認定の壁に突き当たっています。

また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます。